

早稲田スポーツの先駆者にして、競走部黄金時代の立役者

沖田芳夫・織田幹雄・南部忠平・西田修平

昭和初期という激動の時代、自己の限界に挑み、世界へと羽ばたいた彼らがみた光景とは——。
日本人初の金メダリスト・織田幹雄が愛用したスパイク、今なおスポーツ史上に燦然と輝く2枚の「友情のメダル」(西田修平・大江季雄)など、貴重な資料とともに4人の足跡と交錯する人間模様迫る。

ユニフォームは汗にぬれ、パンツは泥にまみれる。
空間に向かって、高く、遠く跳び上がっている。
放り出されたやりやハンマーが空を切っとうなり、静寂を破る。
そこには、ただ、陸上競技のとりことなり、走神への挑戦に苦悩する選手の姿があるだけである。

(戸田純『走神への挑戦』より・織田幹雄序文)

写真：1932（昭和7）年頃の第一高等学院グラウンド。ここから数々の世界的アスリートが生まれた。

2014 年度春季企画展

「世界への跳躍、限界への挑戦 —早稲田スポーツの先駆者たちとその時代—

会期：2014年3月24日(月)～4月25日(金)

時間：10～17時(入館は30分前まで)

休館：日曜日

会場：早稲田大学早稲田キャンパス

會津八一記念博物館 1階企画展示室

早稲田大学大学史資料センター

〒202-0021 東京都西東京市東伏見 3-4-1 東伏見 STEP22

TEL: 042-451-1343 / FAX: 042-451-1347

URL: <http://www.waseda.jp/archives/>



* 展示会場は早稲田キャンパス 2号館會津八一記念博物館となります。
図を参照のうえお越しください。